

1 愛犬のために、マナーを見直してみませんか？ 犬と暮らすみなさまへ

犬が人間社会で生活するうえで、しつけはとても大切です。近年では災害時の同行避難や避難所での生活等の観点からも重要視されています。無駄吠え、とびつく、夜鳴きなど、他人に迷惑をかけないよう、しつけを行い、飼い犬と楽しく暮らしましょう。

また、マナーの良くない飼い主の存在は、犬自体が嫌われ者になってしまう原因にもなってしまいます。飼い犬と周りの人に思いやりを持って正しく飼いましょう。

飼い方についての相談がありましたら、愛知県動物愛護センターへご相談ください。
愛知県動物愛護センター TEL0565-58-2323（豊田市穂積町新屋 73-3）

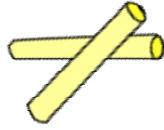
▽いくつできていますか？チェックしてみましょう！

- 犬は繋いで飼いましょう。愛知県では「動物の愛護及び管理に関する条例」第10条により、犬の放し飼いは禁止されています。
- 散歩に出かける前にトイレを済ませている。
万が一、散歩中にフンやおしっこをした場合は、きれいに取り除き、フンは持ち帰り、おしっこは水で洗い流している。
- 散歩時、リードを適正な長さに保ち、ほかの通行人等に配慮している。
- 来客者などに配慮した場所で飼っている。
- 屋外で飼育している場合、夜中や朝方などに大きい声で鳴くときは、近隣に配慮して室内に入れている。
(吠えるのをやめたタイミングでごぼうびをあげるのも効果的)
- 飼育場所はいつも清潔にしている。
- 夜鳴きをする場合は、運動時間を増やしたり、食事やトイレの時間を調整したり、寝やすい環境作りに取り組む。



2 犬のフン放置、みんなが見ています！“イエローチョーク作戦”にご協力ください

市では、犬のフン放置問題を解決するため、**イエローチョーク作戦**を実施していただくよう、チョークを無料配布しています。

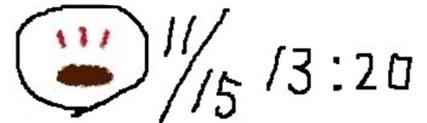


イエローチョーク作戦の目的

犬のフンを放置する人の多くは、人目があると回収していきます。この取り組みは、「他人の目がある」「フンの放置は許さない」という地域の態度を飼い主に認識させることで、飼い主のモラル向上を啓発し、フンの放置をなくすことが目的です。

イエローチョーク作戦のやり方

1. 放置された犬のフンの周囲に丸をつけ、マーキングします。
 2. 「発見日時」を書きます。
 3. フンは片づけず、時間を置いて現場を確認します。
 - (1) ある時→「確認日時」を書きます
 - (2) ない時→「なし」と書きます。
- * イエローチョークは市役所環境課、共生ステーション等で配布しています。



実施の際には交通事故等に
十分ご注意ください！

3 猫は室内で飼いましょう 猫の飼い主のみなさまへ

猫に必要な環境は、広い面積ではなく、高さです。思いっきり上り下りできる遊び場と、狭くて落ち着く場所があれば、室内飼育であってもストレスなく過ごせます。



屋外飼育は猫にとって危険だらけ

- ・ 交通事故(非常に多いです)
- ・ ケンカによる大けが
- ・ 悪い病気をうつされる 等

屋外飼育はご近所トラブルの元に

- ・ 他人の庭でフン
- ・ 他人の庭を荒らす 等